

会 議 録

会 議 名	第 2 3 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 3 回		
事 務 局	公民館本館		
開 催 日 時	平成 2 6 年 1 0 月 7 日 (火) 午前 1 0 時～ 1 1 時 0 0 分		
開 催 場 所	公民館本館 学習室 A		
出 席 委 員	菅沼委員、福井委員、野口委員 花淵委員、山本委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	若藤事業係長 長堀副主査 (再任用)、岡本主事		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 公民館運営審議会の報告</p> <p>2 主催事業について</p> <p>(1) 成人学校「伊勢物語を味わう」について</p> <p>(2) 子ども体験講座について</p> <p>(3) 市民講座について</p> <p>(4) その他</p> <p>3 来年度の予算について</p> <p>4 その他</p>		

〔司会〕山本委員

司 会 第3回定例会です。よろしくお願いします。

### 1 公民館運営審議会の報告

若藤係長 互理委員からの報告ですが、第6回委員部会を9月24日に開催しました。第2回研修会は11月に開催予定です。また、東村山市が都公連から脱退を表明しました。脱退の理由は中央公民館の耐震工事が行われ、職員体制が取れなくなるためです。科学の祭典については、8月末に開催されました。来年は9月20日に開催予定です。また、9月18日～10月8日の日程で、貫井北分館で利用者アンケートを実施します。

### 2 主催事業について

#### (1) 成人学校「伊勢物語を味わう」について

岡本主事 講座で使用する参考文献を講師に確認しましたところ、岩波文庫の『伊勢物語』大津有一校注、講談社学術文庫の『伊勢物語 全訳注』阿部俊子訳注、角川ソフィア文庫の『新版 伊勢物語』石田穰二訳注とのことでした。講座内容については伊勢物語の作者、書名、成立時期などの概要を伝えて頂き、二条の後、東下り、伊勢の斎宮を学びます。また、伊勢物語を源氏物語との関わりを通じて考察します。

#### (2) 子ども体験講座について

岡本主事 12月6日(土)に去年と同じような内容でクリスマスリース作りを行います。講師は森林インストラクターの武部令さんと大石征夫さんをお願いします。

#### (3) 市民講座について

長堀副主査 市民講座の日程については1月の月刊こうみんかんに掲載予定です。保育を付けたいとの要望がありましたので、今回は保育を付けます。

福井委員 講座のテーマについては長堀さんが決めましたか。

長堀副主査 大きなテーマについては準備会で決めました。市民グループには、財政ウォッチャーで市民の立場から財政のどういうところが問題であるのかを伝えて頂きます。また、1回目と3回目は専門家に小金井市の市政の概要について話をして頂く予定です。

#### (4) その他

岡本主事 10月の市民映画会は、貫井北分館で実施します。今後の市民映画会については公民館本館と貫井北分館の交互で実施予定です。

花渕委員 10月はどのような映画を上映するのでしょうか。

岡本主事 『おくりびと』という映画を上映します。

花渕委員 『おくりびと』は1週間くらい前にテレビで放送されていました。

野口委員 子どもの人権講座の応募状況はいかがでしょうか。

若藤係長 直接、会場に来て頂くことになっているため、応募人数は不明です。

福井委員 シルバー大学についてですが、以前にお話が出ていたように、スケジュールを前倒しにする予定でしょうか。

長堀副主査 市報の1月1日号にスケジュールを掲載して1月21日頃に準備会を開催

しようと思います。

菅沼委員 準備会は1月28日に開催した方がいいのではないのでしょうか。

長堀副主査 それでは市報の1月15日号にスケジュールを載せて、1月28日の10時から準備会を開催します。

### 3 来年度の予算について

若藤係長 来年の相談ですが、成人大学をこれまで学芸大学と連携して行ってきましたが、会場費等も考慮して、成人大学を市民講座に振り替えて実施していくというのではどうでしょうか。

菅沼委員 市民講座に大学の講座を持ってきても意味がありません。市民講座では、旬な講座をやるべきであると思います。

司 会 大学と連携をして講座を開催しているのは、一つの売りになります。成人大学を残すべきであると思います。

長堀副主査 実態として、大学との連携は少ないです。日程調整について、大学は協力的ではないこともあります。先生の紹介はすぐにして頂けましたが、その先生は旧知の先生でした。9月に講座を開催する予定でしたが、大学から日程の都合が付かないと言われました。そのため、開催日程が3月になります。

菅沼委員 成人大学は今までは学芸大学で8月に講座が行われていました。

司 会 100人くらいの参加者が来ることもあるので、学芸大学で講座を行うべきです。

福井委員 私も講座を学芸大学で行うべきであると思います。以前は先生を通じて会場を借りたことがあります。今年は会場を借りてから、先生に講座を依頼しようとしたのではないのでしょうか。稲葉市長も大学との連携を勧めています。学芸大学の生徒さんにも講座に参加して欲しいです。

長堀副主査 今回の会場を借りることの問題については、学芸大学の講座を実施する部署と会場を借りるための部署が、上手く意思疎通が図れていないために起こりました。今回に限り、このような状況であるかもしれないので、学芸大学への連絡の取り方を検討していきたいと思います。

司 会 会場費等も考慮して、成人大学を市民講座に振り替えるというお話がありましたが、講座の回数を4回から3回に減らしてでも大学で講座を開催するべきであると思います。

花淵委員 大学は授業があるので、8月と3月くらいしか日程の都合が付かないと思います。

長堀副主査 次回の成人大学は、2月にはテーマを決めていきます。

福井委員 どの様なテーマと言うよりも、どの様な先生がいるかを調べて、その後にテーマを決めていくべきであると思います。

若藤係長 先生を公民館にお呼びするというのはどうでしょうか。

菅沼委員 場所は公民館でなくて学芸大学とするべきです。

司 会 成人大学については会場を早めに予約して、来年も学芸大学で実施していくという方針にしたいと思います。

若藤係長 まちづくり講座についてですが、今は公民館本館のみで実施しています。この講座の名前が都市開発のイメージとなっているので変更した方が良くもありません。目的と講座の内容が合致していないと思います。まちづくり講座を成人学校に切り替えるというのはどうでしょうか。

菅沼委員 まちづくりは市民講座、成人学校は芸術等、趣旨をしっかりと見直すべきです。

若藤係長 会議録を確認してもどうしてまちづくり講座ができたのかは不明でした。  
福井委員 まちづくり講座は、5年前の私が企画実行委員の時に作りました。道路を広げるのではなく、町興しの発想でこの講座が始まりました。まちづくり推進委員と打合せをして、この講座の内容を決めていきました。

司 会 統合できるものは統合するということで、検討していきましょう。  
菅沼委員 私はまちづくり講座が市民講座の中の一つであると思います。  
長堀副主査 予算で枠を細分化すると、それで枠をはめてしまうことになります。細分化をしないのであれば、自由にできるものもあります。

若藤係長 今のところ、まちづくり講座は残す予定です。  
司 会 市民講座の中にまちづくり講座を残せば良いと思います。  
福井委員 自主講座のように一般部門と男女共同部門と分けて、大枠を同じにしても良いかもしれません。

司 会 現段階ではまちづくり講座は成人大学ではなく、自主講座に統合するということとしたいと思います。

#### 4 その他

長堀副主査 シルバー大学は残り3回となりました。前回の講座で認知症サポーター養成講座をやってみてはどうかという意見が出たので、明日のシルバー大学で開催の案内しようと思います。

菅沼委員 賛成です。知人を連れて来ても良いと思います。また、市長の講座は前もって質問状を集めた方が良いのではないのでしょうか。

福井委員 質問状があれば市長も準備ができると思います。去年は質問状がありました。

長堀副主査 明日のシルバー大学でどのようなことを質問したいのかを確認します。  
福井委員 アンケートの余白に質問を書いて貰うのはどうでしょうか。  
長堀副主査 アンケートに質問を書いて貰うようにします。

若藤係長 企画実行委員連絡会については11月4日に行います。司会は山本委員にお願いします。内容は自己紹介、規約の一部改定について、グループ討議を行う予定です。

福井委員 自己紹介については去年の緑分館と同じイメージが良いと思います。グループの人員の振り分けについては若藤さんにして頂きます。

司 会 グループ討議は事業を振り返って話すということでしょうか。  
福井委員 そうです。その日に結論を出さなくて良いので、私見をまとめて貰います。  
野口委員 貫井北分館のことを話して、自分達の事業の運営のヒントにして貰いたいです。

司 会 今後、参考にしていきたいことと注意すべきことを結論として出して貰おうと思います。

福井委員 次回の企画実行委員連絡会は本町分館であることを伝えて下さい。  
司 会 次回は11/4(火)午前10時から行います。  
本日はこれにて終了します。

以上